

# L350からLS351への取替に関して

## 【施工に関する互換性一覧表】

		可否	可否理由および対応	掲載ページ
カウンター		×	カウンター切込穴寸法が異なるためカウンター流用不可です。新規対応となります。	2ページ
給水位置		●	デッキ面高さおよび給水穴位置は同等です。	3ページ
排水位置	壁排水	▲	排水金具直管分の差し込み代不足の場合があるため、そのままでは対応不可です。 別途アダプタ（TN127）を手配することで対応可となります。	4,5ページ
	床排水	●	排水取り出し位置（壁から150mm）は同等です。	4ページ
排水金具	壁・床共通	×	排水口の規格が異なるため排水金具の互換性はありません。標準セットの排水金具を使用してください。	6ページ

※詳細は各掲載ページを参照ください。

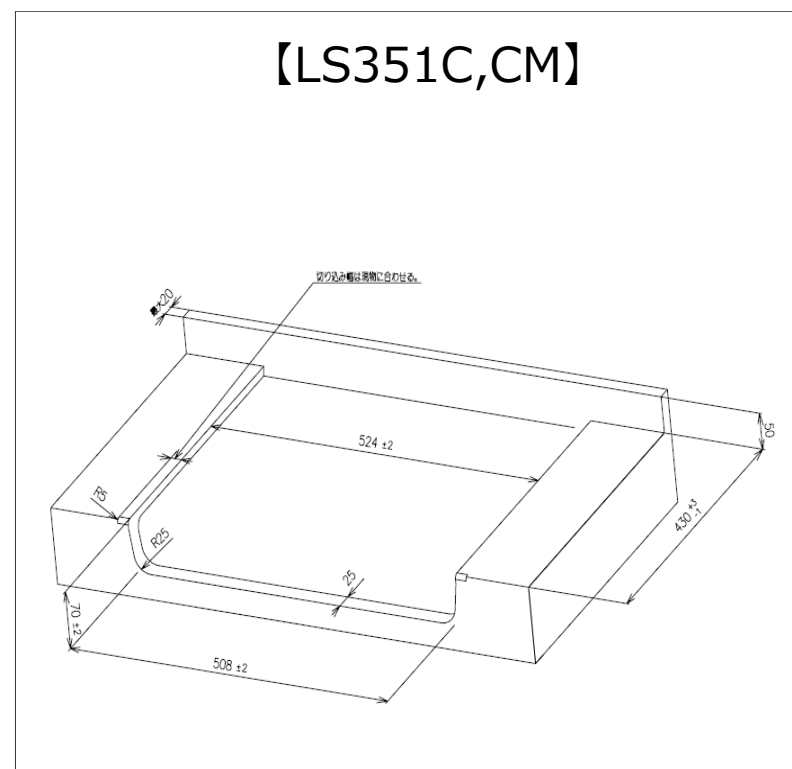
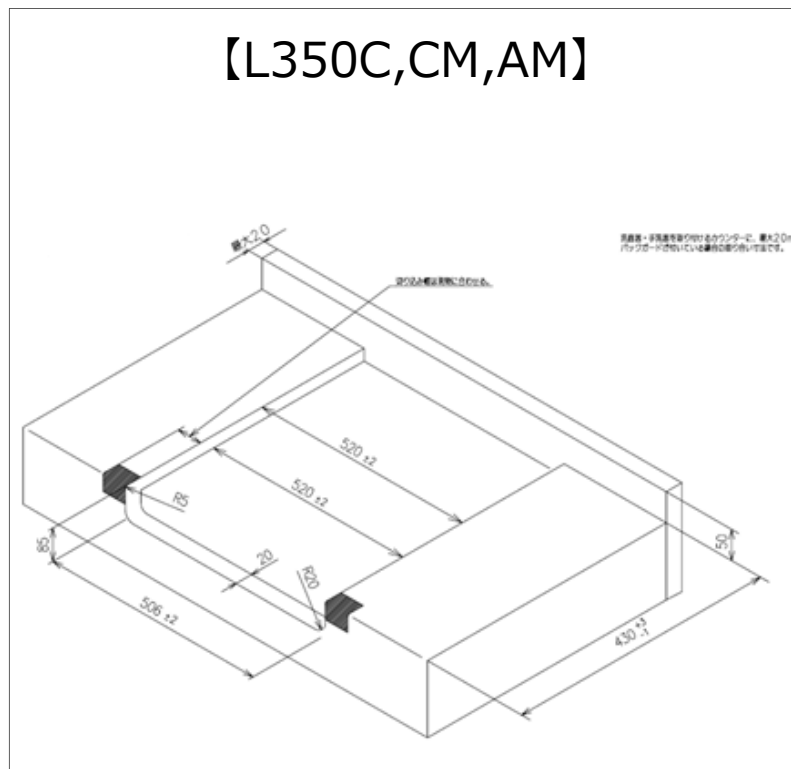
×：互換性無し。

●：互換性あり。ただしL350の標準位置で立ち上がっている場合ですので、事前に現場の給排水の位置をご確認ください。

▲：別途、部材手配が必要。

# カウンター

## カウンター切込穴寸法の比較

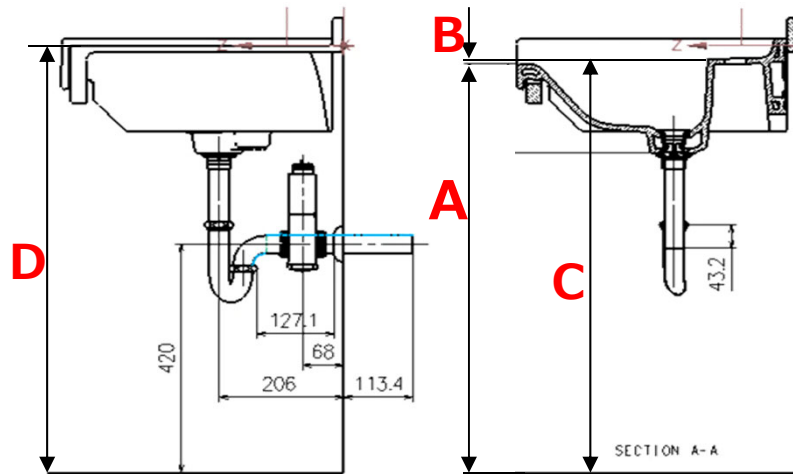


カウンター切込穴寸法は異なります。よってL350からLS351へ交換する場合、カウンターは流用できませんので新規にご対応ください。

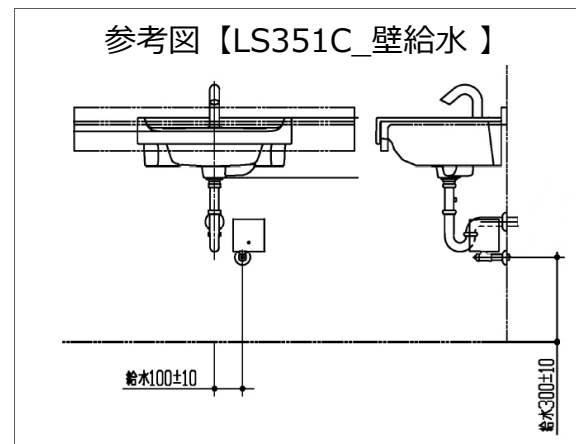
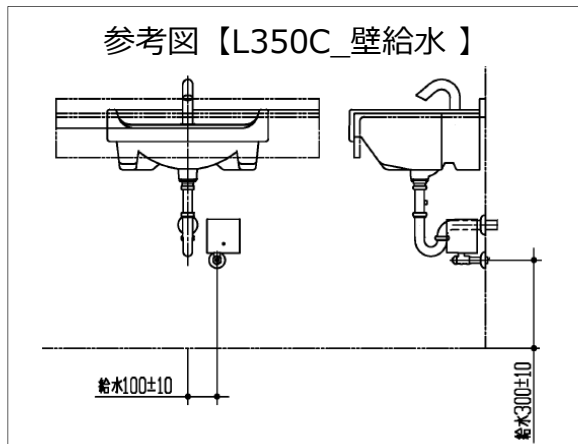
# 給水位置

L350とLS351は、デッキ面高さおよび給水穴位置に変更ありません。

《デッキ面高さ寸法比較》



	項目	L350	LS351	差異
A	床～あふれ縁	750mm	750mm	0mm
B	あふれ縁 ～デッキ面	10mm	10mm	0mm
C	床～デッキ面	760mm	760mm	0mm
D 参考	カウンター高さ	800mm	785mm	LS351 - 15mm



左図は標準セットの給水位置を比較するため、参考セット図の一部を加工したものを掲載しています。  
※自動水栓：TLE28SA1A

**デッキ面高さは現行品と同一のため、給水接続の取合いに変更なし。**

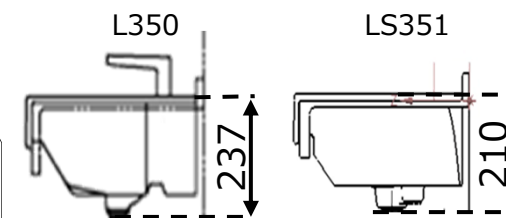
# 排水位置（壁・床排水）

## ■標準排水位置

	L350	LS351
壁排水	<p>排水420±10 420</p>	<p>排水430±10 430</p>
床排水	<p>150 排水150±10 給水300±10</p>	<p>150 給水50 排水150±10</p>

### 【変更理由】

総高さが小さくなったため  
⇒車いす配慮



### 【設計要件】

セット排水金具品番  
TLDP2201J

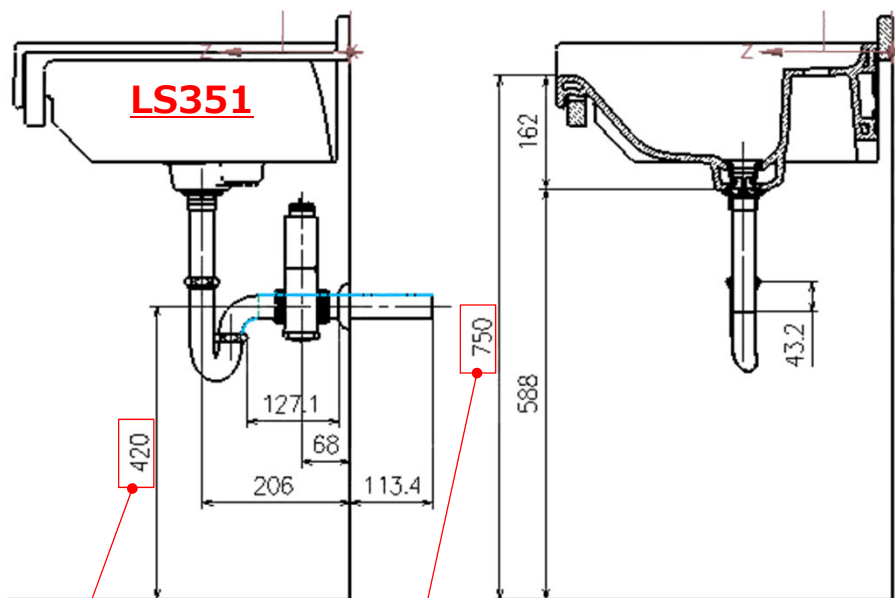
(条件)  
差込み代30mm以上  
確保のこと

壁排水：L350の標準排水位置の場合オプション品にて対応（5ページ参照）  
床排水：排水位置は同等ですので流用可。

# 排水位置（壁排水のみ）

## 壁排水：L350の標準排水位置にLS351を設置する場合

排水金具直管分の差し込み代不足のため  
別途、アダプター（TN127）が必要です。

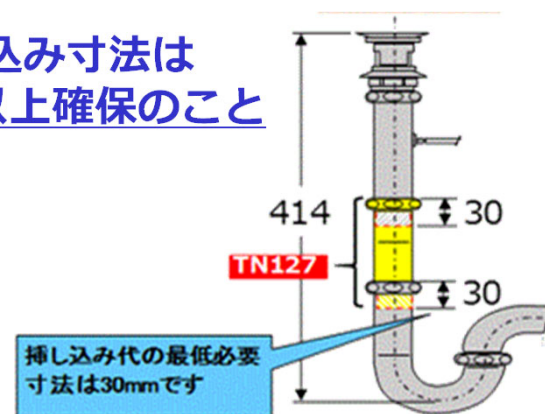


※L350の標準排水位置

※LS351の標準高さ（あふれ高さ）に設置

参考) SJHP\_水栓金具Q&A1923抜粋

挿し込み寸法は  
30mm以上確保のこと



挿し込み代の最低必要  
寸法は30mmです



排水つぎたしアダプター  
品番：TN127

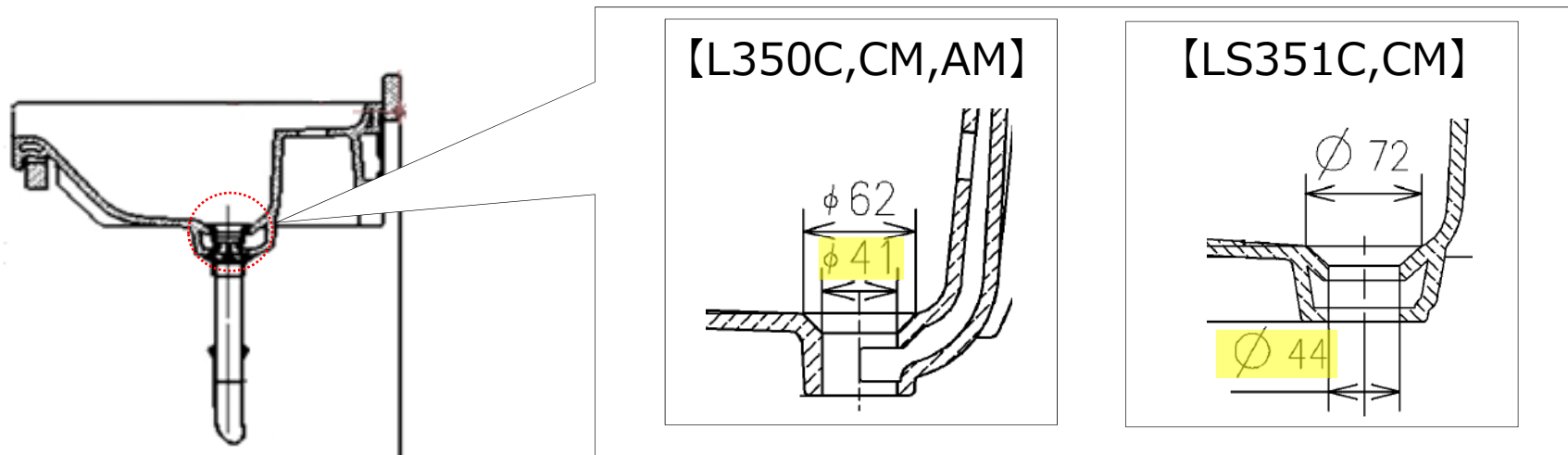
挿し込み代が不足する場合に使用  
することで上図の黄色部分のように  
長さを調整することができます。  
（上図の黄色部がTN127）

L350の標準壁排水位置（床から420mm）に、LS351を設置する際、  
施工誤差・陶器の寸法許容範囲まで考慮すると、排水金具の挿し込み代が  
30mm以上確保できない場合があります。  
そのため、別途アダプター【TN127】が必要になります。

# 排水金具

## L350とLS351の排水口径の違い

L350は日本専用排水口（φ41）  
LS351はグローバル排水口仕様（φ44）となっています。



排水口の規格が異なるため排水金具の互換性はありません。  
L350の排水金具はLS351へ流用できませんので新規に手配ください。